

無線通信研究委員会

WP 6E

(ジュネーブ)

報告書(案)

平成19年4月30日 ～ 平成19年5月4日

目次

1. まえがき	2
2. 会議の概要.....	2
2.1 会議の構成.....	2
2.2 主要結論	3
(1) 音声放送、DRM.....	3
(2).....	TV放送3
(3).....	移動体向け放送3
(4).....	「アナログからデジタルへの移行」3
(5).....	その他WRC-07議題関連3
3. 審議の内容	4
3.1 音声放送、DRM (SWG 6E-1).....	4
(1) 新研究課題案「26MHz帯近距離ローカル放送用デジタル変調の干渉軽減技術」	4
(2) 新レポート案「FM変調機からの放送への干渉」	4
(3) 勧告「地上放送への干渉基準」 BT.1786,BS.1786改訂案	5
(4) 新レポート案「短波放送に関する情報」	5
(5) WP8Bへのリエゾン回答(航空移動業務との共用関連).....	6
3.2 TV放送 (SWG 6E-2)	6
(1) 新レポート草案「デジタル地上テレビ放送信号の境界範囲の評価」.....	7
(2) WP8Fへのリエゾン回答「470-862MHzの地上デジタルプランニング特性」	7
(3) 新レポート草案「地上デジタル放送のダイバーシティ受信」	8
3.3 移動体向け放送 (SWG 6E-3).....	8
(1) 勧告BT.1368-6「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョン放送のプランニング基準」改訂案	8
(2) WP8Fへのリエゾン回答(IMT-2000と地上デジタル放送の両立性検討関連).....	8
3.4 「アナログからデジタルへの移行」 (SWG 6E-4).....	9
3.5 WRC関連、その他(SWG 6E-5, 6E-6, 6E-7)	11
(1) SWG6E-5 : その他の課題	11
(2) SWG 6E-6, 6E-7 (WRC議題1.11、1.13関連)	12
4. あとがき	12
表1 日本からの出席者	13

表2 入力文書一覧（全47件）	13
表3 出力文書一覧（全21件）	15

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第6研究委員会(SG 6：放送業務)の作業部会 WP6E(地上放送)会合が下記の通り開催された。

- 開催日 : 2007年 4月30日(月) ～ 5月 4日(金) (5日間)
- 開催地・会場 : ITU本部 (スイス国・ジュネーブ)
- 議長 : L. Olson氏 (米国)
- 副議長 : S. Perpar氏 (スロベニア)、(V.Giudici氏 (伊)、F. Conway氏 (カナダ)、Gengaroli氏 (豪) は欠席)
- 参加者 : 約30国・機関から約80名 (登録者)
日本より、本間(総務省), 正源(NHK), 西田(NHK), 立岡(NHK), 浦野(NTV) (表1参照)
- 入力文書 : 47件 (表2参照)
- 出力文書 : 22件 (表3参照)
- 新勧告案 : 該当なし
- 勧告改訂案 : (1) 勧告BS/BT.1786「地上放送への干渉基準」の改訂
(2) 勧告BT1368-6「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョン放送のプランニング基準」の改訂
- 新研究課題案 : 「26MHz帯近距離ローカル放送用デジタル変調の干渉軽減技術」
- 新報告案 : (1) 「FM変調機からの放送への干渉」
(2) 「短波放送に関する情報」

2. 会議の概要

2.1 会議の構成

以下の7つのサブ・ワーキング・グループ (SWG) を構成し審議にあたった。

(1) SWG 6E-1 :	音声放送、DRM	議長 : D. Messer氏(米)
(2) SWG 6E-2 :	TV放送	議長 : S. Perpar氏 (スロベニア)
(3) SWG 6E-3 :	移動体向け放送	議長 : R.Bunch氏(豪)
(4) SWG 6E-4 :	アナログからデジタルへの移行	議長 : A.Magenta氏(伊)
(5) SWG 6E-5 :	その他の課題	議長 : M.Mullinix氏(米)
(6) SWG 6E-6 :	WRC-07 議題1.11	議長 : R.Bunch氏(豪)

2.2 主要結論

(1) 音声放送、DRM

DRMを用いた26MHz帯の放送実現に向けた新研究課題案について「26MHz帯近距離ローカル放送用デジタル変調の干渉軽減技術」を作成した。また、シリアが反対して承認されなかった「FM小電力機器からの放送保護」に関する新勧告案を考慮し、周波数割当の無い無線機器から放送への干渉基準に関する勧告BS./BT.1786「地上放送への干渉基準」へFM小電力機器を盛り込む内容のエディトリアルな改訂案を作成した。同様の小電力FM送信機器から放送への干渉に配慮した新レポート案「FM変調機からの放送への干渉」、アラブグループからの反対はあったがWRC議題1.13の資料となるABUの見解や、EBUのアンケート結果を盛り込んだ新レポート案「短波放送に関する情報」を作成した。

また、「108-117.975MHzで運用する新しい航空移動業務からの放送業務の保護」に関するWP8Bへのリエゾン返答を作成した。

(2) TV放送

露のDVB-T情報に基づく新しいテキストを追加する新レポート草案「デジタル地上テレビ放送信号の境界範囲の評価」、WRC-07議題1.11の地上放送受信アンテナ特性を記載した新レポート草案「Vアンテナ」、DVB方式の移動受信実験に関する新レポート草案「地上デジタル放送のダイバーシティ受信」、を作成した。

(3) 移動体向け放送

勧告BT.1386「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョン放送のプランニング基準」のDVB-Tの章に新たにDVB-Hの情報を盛り込んだ改訂案、「IMT-2000と地上デジタル放送の両立性検討」に関するWP8Fへのリエゾンを作成した。

(4) 「アナログからデジタルへの移行」

世界各国の地上デジタル放送システムを網羅したレポート「アナログからデジタルへの移行」に、韓国T-DMB方式及び日本のISDB-T、T_{SB}の最新の情報を盛り込み、また、各システムの技術概論となるPART1と世界各国のデジタル方式の実情を詳細に記載したPART2の構成を整理し、新レポート草案を作成した。

(5) その他WRC-07議題関連

議題1.11(620-790MHz衛星放送からの保護)及び議題1.13(4-10MHz帯割当見直し)についてはCPMテキストの現状報告についてのみ議長報告に記載することを確認した。また、決議951に関するWP1Bへのリエゾンについては、CPM報告書が完成していること、韓国及び英国が放送業務の定義は見直しがされるべきであるとしてWP6Eとしてまとまらず、議長報告にRAで議論される旨が記載されることとなった。

3. 審議の内容

3.1 音声放送、DRM (SWG 6E-1)

SWG 6E-1において、4回のSWG会合と26MHz帯デジタル放送及び108MHz以下の放送と航空移動業務との共用を扱うDG6E-1-1(議長スペル(英))、小電力FM変調機からの干渉を扱うDG6E-1-2(議長プラマー(NABA))のDG会合で審議を行った。

(1) 新研究課題案「26MHz帯近距離ローカル放送用デジタル変調の干渉軽減技術」

入力文書：6E/458(DRM)

出力文書：6E/TEMP/231(SG6送付; 新研究課題案)

審議結果：

DG6E-1-1(議長メッサー(DRM))で新研究課題案「26MHz帯 DRM に要求される技術特性とチャンネルング」(6E/458)を基に議長が案を用意。DRM で 26MHz帯を放送に用いる際に必要な干渉軽減技術の研究が目的であることをタイトルに反映すべきと仏が主張し合意。干渉は太陽の黒点活動ではなく、電離層の状態によって起こるものであるとしてサマリーも不適切な記載を削除することで仏、日、DRM の見解が一致した。

日本から considering の記載も全てそのように統一すべきであり、特に26MHz では、太陽活動に関係なく遠距離まで電波が届く場合が熱帯や亜熱帯に発生することがあり、遠距離伝搬が期間限定で発生すると断定できない。表現は‘かもしれない’程度にするべき。また、送信アンテナの設計で干渉軽減ができるという表現は、特定のバイアスを与えてしまうので注意すべきであると指摘し、干渉軽減に向けたあらゆる技術研究が対象とコメント。これに対し、DRM は研究項目として、アンテナの放射パターンは重要な研究であるとして‘送信アンテナ’の削除に難色を示した。仏は、日本の意見を支持し、干渉軽減技術と ERP 向上が同時に保証されるか疑問として結局、「干渉軽減用アンテナ」ではなく、「近距離放送用アンテナ」に表現を変更し合意し、DG の審議を終了した。

SWG6E-1 では WP6E 議長オルソン氏及び米から一般的な研究課題ということが望ましく、特定のシステムに偏らないことが必要とコメントがあり、DRM という表現を considering パートから排除することとして承認された。

WP6E総会ではシリアのdecide、further decidesに伝統的な用語を使うべきとのコメントがありこれに配慮することやタイトルのto permitはforに、また、considering e)とf)の間にRelevant protection ratioに関する記述を追加する等エディトリアルな修正を加えることで承認された。なお、DRMの表現について脚注を入れるべきとEBUからコメントがあったが議論の末、不要となった。

(2) 新レポート案「FM変調機からの放送への干渉」

入力文書：6E/451(SG6議長), 472(NABA)

出力文書：6E/TEMP/232 (SG6送付; 新レポート案)

審議結果：

WP6E 第1回総会で、シリアは、「ITU に対応すべきではなく製造業者への指導の問題でありこのような小物は途上国には関係ない」とし審議反対を表明。イランは国際マターかどうか不明であるという点で問題を表明するべきとし、WP6E 議長は、「もし、周波数問題になれば ITU—R で考慮しなければいけない」と発言、DRM は WP6E 議長、イランを支持。米から国際空港で販売している小物であると指摘があった。SWG6E-1 第1回会合において議長メッサー氏は国際空港で販売されているのであれば、米、欧等どこでも起こりうる問題として、「周波数帯割り当てのない機器からの干渉ガイドライン」に関する差し戻し勧告への入力文書 (DOC.6/451)とは少し異なるとして、DG6E-1-2(議長プラマー(NABA))で審議することとなった。

DG6E-1-2 では、韓国からのコメントにもとづき、ANNEXを全て Appendixに変更したほか、導入部にエディトリアルな修正を加えた。本レポート作成による主管庁への影響(各国規則へのインパクト)は特になんことが確認され、また、本件に関する FCC やドイツでの検討結果が口頭で紹介されて特に議論なく審議終了。SWG6E-1 でも APPENDIX の章のタイトルを変更して承認された。

WP6E 総会ではタイトル:BS.[FMMOD]への訂正、シリアからこのような小物が世界的に問題となった場合は WP1A で扱うこと、また CISPR で扱うものとコメントがあり、CBS も WP1B にも送るべきとコメントし、特に議論無く新レポート案として承認された。

(3) 勧告「地上放送への干渉基準」BT.1786,BS.1786改訂案

入力文書：6E/451(SG6議長), 476(CBS), 483(SG6議長)

出力文書：6/409(TEMPは作成されず、6E議長名でSG6送付)

審議結果：

WP6E第1回総会で451について、シリアは「既存勧告のアレンジで包含することができる」として新勧告案の作成に反対を表明。最終日のWP6EにおいてSG6議長から差し戻しに関する文書6E/483が入力され、伊が全面的にこれを支持。シリアがこの文書のc)について、エディトリアルな変更だけとして欲しいとコメントし、DRMもこれに基づくエディトリアルな勧告訂正案をSG6へ出すことを支持、シリアも決議44条上も問題が無いとして承認された。

(4) 新レポート案「短波放送に関する情報」

入力文書：6E/357An.3(WP6E議長報告), 477(HFCC)

出力文書：6E/TEMP/233(SG6送付;新レポート案)

審議結果：

6E/477は2006年春季会合で作成したPDNレポート「HF放送サービスに関する情報」のAnnex3の改定提案。6E第1回総会、SWG6E-1では特に議論無くスペル氏が用意した出力文書案がそのままWP6E総会で議論された。英(スペル氏)は、WRC-07議題1.13(4-10MHz帯割当の見直し)の材料としてDraft扱いを希望したが、シリアはTable1の記載が第一地域に限られており、周波数帯の記載も現行の割当とは異なるものであること、放送事業者として主管庁の正式な承認を得たデータではなく、アラブグループとしては時期尚早とSG6における承認も含めて反対を表明。WP6E議長がシリアのコメントを議長報告へ書くとし、新レポート案として承認された。

(5) WP8Bへのリエゾン回答(航空移動業務との共用関連)

入力文書：6E/448(WP8B), 449(WP8B)

出力文書：6E/TEMP/234(WP8Bへのリエゾンバック)、6E/TEMP/235(WP8Bへのリエゾンバック)

審議結果：

6E/448「108MHzの航空移動業務と放送業務の両立性」(WRC-07議題1.6関連)について、SWG6E-1第1回会合において英は、欧州で研究したがデジタルはまだ検討課題があり問題がある可能性は大きいという留意点を返すべきと指摘、また、NABAは重大な関心を持っているとコメントし、短いリエゾンステートメンを米、英で検討することとなった。SWG6E-1第2回会合では、内容を音声デジタル放送との両立性に絞るとして承認され、WP6E総会においてTEMP234を審議、シリアがアラブグループはCPMテキストに反対していることを確認しCPMテキストを引用し、リマークを入れることとして承認された。

6E/449「108-117.975MHz航空移動業務と108MHz以下の放送業務との両立性」について、8Bから研究を終了し新勧告を作成したとのリエゾンに対し、BBCは、デジタル放送システム等について更に確認が必要であり、米も前回の6Eで懸念を表明したが時間が無かったため、最低限の対応しかできなかったと発言。結局、米、英でリエゾンを検討することとなった。SWG6E-1第2回会合では、デジタル音声放送が与干渉となる可能性についても記載することで承認され、WP6E総会においてTEMP235を審議、改めてWP6E議長が、現在、WPはWRCに何も入力できないことを確認、承認された。

3.2 TV放送 (SWG 6E-2)

SWG 6E-2は、以下の4つのドラフティンググループ(DG)を作成、審議を行った。この結果、3つの新レポート草案を作成した(すべて議長報告へ添付)。

(1) DG 6E-2-1	プランニング手続きと電波伝搬	議長：S.Bergsmark氏(スエーデン)
---------------	----------------	------------------------

(2) DG 6E-2-2	勧告BT.805関連	議長：R.Bunch氏(豪)
(3) DG 6E-2-3	Administrative matters	議長：L.Olson氏(米)
(4) DG 6E-2-4	リエゾン	議長：S. Ripley氏(英)

(1) 新レポート草案「デジタル地上テレビ放送信号の境界範囲の評価」

入力文書：6E/435 An.4(WP6E 議長報告), 463(露)

出力文書：6E/TEMP/223(議長報告添付)

審議結果：

DG6E-2-1において、前回会合議長レポートに添付の勧告草案(6E/435Annex.4)へAppendixを2つ追加する修正提案として露が紹介した。DG6E-2-1議長は、図1では4つしか伝搬経路の例が記載されていないこと、更に本文1.5章、電界の変動幅が20dBまでに納まったというのは端末の状態を考えたもおかしいとコメントがあり、露は20dBまでという表現を削除することを提案し、議長がこのAppendixの情報は主管庁に役立つとして削除を了承し審議終了。

SWG6E-2ではエディトリアルな修正を加えて承認され、WP6E総会における議論ではSWG6E-2議長が、「Appendix追加の他はエディトリアルな点のみの訂正であり、草案が既に議長報告に入っているので新レポート案としてSG6へ上げたい」と提案。これに対しWP6E議長は議長報告添付の段階であると反対、シリアもカバレッジは微妙な問題であるとしてWP6E議長の判断を支持、イランはいくつかのパートで引用しているSG3の伝搬の新勧告が承認プロセスに入っており、その影響は大であり時期尚早として難色を示し、結局、議長報告へ添付、研究は継続となった。

(2) WP8Fへのリエゾン回答「470-862MHzの地上デジタルプランニング特性」

入力文書：6E/468(豪)

出力文書：6E/TEMP/228 (議長報告添付)

審議結果：

DG6E-2-1では、特に議論無く新レポート草案としてTEMP文書を作成し、豪がドラフト作業を実施することとなった。SWG6E-2では、TEMP/228について審議。加がWRC-07議題1.11に関するイントロについて削除を求め、豪と対立。結局、豪と加がドラフトし、導入部から議題1.11に関する記述を削除し、エディトリアルな変更を加えたrev.1を作成した。WP6E総会において、シリアからこの内容は議題1.11と関連しており1国の主管庁のデータだけを扱っているとして反対を表明。イランもWRCでこの扱いがどうなるか不明として更なる開発に関する記述の追加を行って一般化すること、更に地上と放送衛星との共用問題ではないとする1文追加を提案。一方、英は議題1.11に大きく関係するからこそ、非常に役に立つとして対立。

結局、豪提案のp.2第2段落3行までのWRC議題を示唆する記述の削除、'620-790MHz'という表現を'Vバンド'とする等の修正と追加テキストをつけて議長報告へ添付するとした。

(3) 新レポート草案「地上デジタル放送のダイバーシティ受信」

入力文書：6E/462(伊)

出力文書：6E/TEMP222(議長報告添付)

審議結果：

移動車両によるDVB-Tのダイバーシティ受信結果をまとめたイタリアからの寄与文書6E/462をベースに、DG6E-2-1では「新レポート草案に向けた作業文書」としてTEMP文書を作成することとなり、SWG6E-2でも特に議論無く承認された。WP6E総会では、シリアから「SG3はこのレポートに役立つダイバーシティ受信を含む多くの課題に進展をした」とのコメントを含めるように発言があり、コメント付で議長報告へ添付することで承認された。

3.3 移動体向け放送 (SWG 6E-3)

SWG 6E-3においては、議長Bunch氏の下、主に以下の審議を行った。

(1) 勧告BT.1368-6「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョン放送のプランニング基準」改訂案

入力文書：6E/464(フィンランド)

出力文書：6E/TEMP/238(SG6 送付、勧告改訂案)

審議結果：

SWG6E-3第1回会合において、6E/464(フィンランド)(勧告BT.1368-6「VHF/UHF帯のデジタル地上テレビサービスのプランニング基準」のDVB-Tの章にDVB-Hの受信環境に関する最小電界強度等の技術諸元を追加する提案)について、フィンランドが受信機はノーマルTVバンドを受信できるとコメントがあり、モバイルハンドヘルド端末の勧告に注意しながら追記内容が新チャプターとして適切かどうか、議長が確認することとなった。その後、開催された6E3会合においては特に議論なしでTEMP/238を承認。WP6E総会において、シリアから本質的に何が改訂されたのか質問があり、SWG6E-3議長がDVB-Hを追記したと説明。これに対して、シリアはDVB-Hには現実味を感じていないとしてSG6まで留保を表明した。結局、シリアの留保付で勧告改訂案として承認された。

(2) WP8Fへのリエゾン回答(IMT-2000と地上デジタル放送の両立性検討関連)

入力文書：6E/453(WP8F), 469(豪), 479(NDR, ZDF)

出力文書：6E/TEMP/239R1(WP8F へのリエゾン回答)

審議結果：

WP6E第1回総会において、6E/453(470-806/862MHz帯IMT-2000と放送業務との共用検討参加を要請するWP8Fからのリエゾン)について、シリアはWRC-07マターであり第1地域のアラブグループとして、議題1.4については何もしないことが良いと発言。イランは、返答無しもひとつの選択肢であり、WP8Fへリエゾンを出すのもひとつと発言。また、スイスはWP8Fへ何らかのリエゾンを出すべきと発言し、扱いも含めてSWG6E-3で議論することとなった。6E/479(6E/469を支持する470-862 MHzの地上デジタルプランニング特性)については、イランがこの問題はWP6EとWP8Fで完全に研究することが必要であり、IMT-2000との共用について継続研究の必要があるならばWRC決議の採択が条件であり、RRC議長は何もできないと主張。シリアも共用検討はWRCで決定されるもの。この議論をする背景がないとして反対。SG6議長も、このための予算はなく勧告のアップデートができるだけとシリア、イランを支持。更にイランは、「我国の状況を改善する必要はなく、他の国も移動業務に割り当てる必要はない。IMTは固有の業務であり、もし、WRCが研究するというならばWRCの課題である」と主張。一方、英は純粹に共用検討のための文書であると発言。DRMは今までのコメントを考慮、SWGでは議論しないことを提案したが、WP6E議長はSWG6E-3でまとめるよう指示した。

SWG6E-3では議長が6E/453, 469, 479の3つの文書からWP8Fへのリエゾン回答案について、Sharingではなく、両立性(compatibility)という表現でWRC議題の印象を和らげること、ISDB-T、ATSC等の方式については至急研究が必要であること、GE06プランでも小電力の局を考慮する必要がある等の内容を盛り込んだたたき台6E/TEMP239を用意し、2回目の会合までに電子メールでSWG6E-3参加者へ配布、意見を募集することとした。6E-3会合2回目では、寄せられた意見を基に、全ての'sharing'という表現を'compatibility'に置き換え、更に、「WP6Eは多くの主管庁が放送に割り当てている帯域の両立性検討について、WP8Fが主担当で行うことは暫定的だろうと信じる」というコメントを冒頭に追加し、2.5:DVB-T保護基準について、スウェーデンが用意したIMT.DOCを考慮し、b)IMT-20001局の時間率に、干渉レベルが変動する場合に最小C/Iを適用する問題、更に新しいC) システム帯域として移動する複数の干渉源からの干渉の総和を帯域換算する必要性を追記、6E/TEMP/239(rev.1)を作成した。

WP6E総会では6E/TEMP/239(rev.1)へシリアの意見として最終頁の最後の行、and considers all such studies are necessary.と変更し承認された。

また、コンタクトポイントにはバンチ氏(豪)を指名し、日本開催のWP8F会合へ出席するとのことであった。

3.4 「アナログからデジタルへの移行」(SWG 6E-4)

SWG 6E-4において、議長マジエンタ氏のもと、日本と韓国の寄与文書を基にし

ポート草案「アナログからデジタルへの移行」の審議が行われた。

入力文書：6E/435 An.2(WP6E議長報告), 455(ラポータ ; ロッシン(バチカン)),
455(rev.1)(日本), 471(韓国)

出力文書：6E/TEMP/241(6E議長報告添付、新レポート草案)

審議結果：

日本および韓国の寄与文書からの修正点を基に改訂作業を行った。このうち、日本から提案した内容をP.252、アイテム6に入れるように申し入れたところ、韓国は、6.9章は冗長であり不要、また、6.10はEWS勧告を参照のみすれば良いとして提案の大半削除を主張した。これに対し日本は、6.9章の表は確認後、新たな諸元も追加されており冗長ではないと回答し、また、6.10については勧告には含まれていないデジタルシステム例としてそのまま残すよう主張し、6E-4議長も日本の例であるから韓国は削除することはできないとして日本の主張を支持し、結局、日本提案はそのまま盛り込まれた。次に6E/471(韓国T-DMB方式の最新情報の反映等)に沿って審議を行ったが冒頭、韓国の寄与文書について指摘事項の曖昧さや訂正箇所が不明である点等について6E-4議長から苦言が呈され、韓国と相談して詳細を確認しながら審議を進めてゆくこととした。主なSWG6E-4における変更点は下記のとおり。

2.6.1.2:

韓国から中国のシステムはITU標準ではないとして削除すべきと提案したが、中国は'DMB-T'から'ChinaDTV'に戻たく、情報も用意できるとして名称を変更。議長から'ChinaDTV'は世界標準であるとコメントがあった。

2.8.3:

韓国からハイブリッドシステムは使っていないシステムは削除すべきと提案したが、議長は、衛星コンポーネントを使う存在するシステムは必要として慎重な対応を求め、T-DMB+S-DMBは日本から2つの勧告BO.1130とBS.1547で参照されているSYSTEM Eとして2つの勧告番号とともに記載することを提案、了承された。また、米もハイブリッドシステムは米で使われている。準サイマルもあると発言した。

3.7.2、3.7.3:

韓国提案に基づき全て[]付として次回ローマ会合で考える。3.10.1、4.2は残す。

4.2.5、4.4.2:

韓国は削除(コンバージェンスではなく、トランジション)を提案し米が支持。削除。

4.3、4.7:

韓国はサイマル放送とアナログ終了は密接であり統合を提案し米が支持。統合。この後、DG1はpart1のレビューを行うとして議長はマジエンタ氏、DG2はPart2のレビューを行うとして議長は韓国キム女史がそれぞれ指名され、2つのDGがそれぞれのドラフトを準備、最後のSWG6E-4会合で審議を行い下記の訂正を加えた。

(1) Part 1

- Chap. 1: Fig.1 に Transmission を追加、表の T-DMB の帯域幅 1.536MHz を 1.75MHz に変更 (Part 2 も同様)
2.8.3 System E を除いて、削除 (理由は融合については別の文書を作成するため)。
- Chap. 3 : 3.7.5 Mobile service 3.7.5.2 DVB-H の記述しかなく、一般化したいので、削除。日本から ISDB-T は携帯向けにも放送が可能と発言。韓国と日本で 3.7.5 節をドラフト、結局、移動業務として記載されている 3G ネットワークは全て削除。
- Chap. 4 4.2.4 HFBC の記述について、韓国は懸念を示したが、6E-4 議長がデジタル放送以降に HFBC は重要と発言し、維持することになった。4.2.5 UMTS/GSM DVB-T は削除された。

(2) Part 2

3.2.2.3 Scheduled download of .. DVB-H, Media Flow → 削除。この節はコマーシャルのようである。

WP6E 総会において、シリアから専門家に照会中であるが、このレポートにはスペクトラム関連が含まれており問題があるとして、12月の会合に何らかのコメントをつける旨表明があり、議長報告へ添付することとして承認され、最後に 6E-4 議長が次回イタリア会合までに PART2 は全ての主管庁で考えることを提言した。

3.5 WRC 関連、その他 (SWG 6E-5, 6E-6, 6E-7)

(1) SWG6E-5 : その他の課題

入力文書 : 6E/435 An11, 12 (WP6E 議長)、447 (CCV SG6 ラポータ)、452 (CCV)、
456 (SG6 議長)、457 (BR)、465 (豪)、473 (日本)、481 (SG6 議長)

出力文書 : 6E/TEMP/225, 226 (議長レポート添付)

審議結果 :

6E/457 ; 6E に割り当てられた研究課題、勧告、レポート等の確認のためのラポータを選定する出力文書 TEMP/225 を審議。シリアは RA の前までにしなければいけないとして特に研究課題について検討を要請し、BR カウンセラ (マラグッチ氏) 等関心のあるメンバーで会合し月曜、火曜で研究課題を出すとし、ラポータは主管庁の確認待ちとして報告し承認。

473 ; 日本から提案した WRC-07 決議 951 に関する WP1B へのリエゾン内容については、既に CPM で終了しているとして韓国が反対。また、英は日本の提案に対して、IP や携帯電話を使った番組配信が行われている現在では旧式の放送の概念であり、既に WP1B では考慮されている内容であり新しいものは何もなく無意味であるとして、リエゾンを出すことに反対。日本は、WP1B は 6 月にも会合があり入力すれば審議ができるはずであること、IPTV 等の導入はあるが、一方で公衆に対する直接受信という放送の役割に変化は無いとし、WP6S は衛星放送について業

務の定義の見直しは必要ないとの結論を出しており、今回WP1Bへのリエゾン案を作成している、と反論。韓国は決議951についてはCPMで審議を終了しているため、WP6Eは何もできないと主張を繰り返し議論は平行線となった。結局、SG6議長は、日本提案は放送のスコープに関する内容であり、一部は全権委員会議の内容にも係る政治的な内容のため、RAに直接入れることを進言し、WP6E議長もWP6EからはWP1Bに対してアクションはできないが、議長報告に各主管庁に対してアクションを求める内容の記載をすることを提案し日本は了承、TEMP/226に記載された。6E総会では、シリアから日本が寄与した文書が決議951に間に合わなかったことについて、WP1Bは合意に失敗しており、何もしていないので機会を失ってはいないとのコメントがあった。

(2) SWG 6E-6, 6E-7 (WRC議題1.11、1.13関連)

WRC議題に関しては基本的に何も審議せずに進捗状況を議長報告に添付するためのテキストを作成した。

入力文書：6E/478(WRC-07議題1.11レポート)

出力文書：6E/TEMP/224(R1)(議題1.13CPM報告書進捗状況概要報告)、230(議題1.11研究報告書)、ともに議長報告へ添付

審議結果：

478:レポートBT.2075「放送衛星からの620-790MHz帯地上テレビの保護条件」について、シリアからNOTEするだけのものであると念押しコメント。議長から進捗状況を議長報告に添付するためのテキストを作成するだけとして、それぞれSWGの担当者を指名してドラフトさせた。WP6E総会でTEMP/230は特に議論無くシリアからバンチ氏へ謝辞が寄せられ、イランは地上ネットワークの急増を示す統計資料を議長報告に添付することを提案し、シリアがこれを支持。承認された。

TEMP/224(rev.1)は、第1回6E総会でSWG6E-7担当スペル氏が指名されドラフト。2回目の総会でTEMP233の議論を反映して改訂されたことが議長から説明。特に議論なく議長報告へ添付、承認された。

4. あとがき

今回はWRC-07前の最後のWP6E会合であるため、欧州は特に議題1.13に関連するレポート案「短波放送に関する情報」をシリアの反対を押し切って承認させたことが印象的であった。また、WRC-07議題7.1BR局長報告に関連する決議951で日本が提案した放送の特徴については、確かに時期的に遅かったことはあるものの、WP6Sとは対照的に、6Eとして意見がまとまらなかったことが現在の地上放送が直面している地域毎の課題を反映しており興味深かった。特に欧州内でも携帯通信網を使って積極的に番組配信を進めようとする英と、IPTVを使った通信事業者の番組配信に放送事業者の同時再送信の論理は当てはめるべきではないとする韓国のそ

れぞれが放送の定義を見直したいとコメントしたことは、ある意味で日本の寄与文書がリトマス紙の如くそれらの意見を引き出したものと考えている。SG議長のマジェンタ氏が何故SG6へ入れてくれなかったのか、と訴えるような眼差しでSG6への入力の有無を問いかけたことがRAI(伊)のスタンスを物語っており、審議終了後にIRT(独)のヤン氏が日本の提案をRAに入力するときはIRTでもぜひ独主管庁に働きかけたいからコンタクトをして欲しいとの接触があったことが、日本の放送事業者にとっては有り難いことである。

また、アナログからデジタルへの移行レポートは韓国キム女史とマジェンタ氏の再編集作業の賜物であり、12月のイタリア会合でほぼFIXされ、次回のWP6E会合(2008年3月頃とのこと)にて最終審議、採択が予定されている。

表1 日本からの出席者

氏名	所属
本間 忠雄	総務省 情報通信政策局 放送技術課 国際係長
立岡 良夫	日本放送協会 技術局 計画部 副部長
正源 和義	日本放送協会 放送技術研究所(システム) 研究主幹
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所(人間・情報) 主任研究員
浦野 文治	日本テレビ放送網(株) 技術統括局 技術戦略センター技術開発部調査企画担当副部長

表2 入力文書一覧(全47件)

入力文書番号(6E/)	提出元	題名	審議(SWG 6E-)	処理文書番号(6E/TEMP/)
435	WP6E議長	Chairman's report - Seoul, Korea from 24 August - 4 September and Geneva from 11-15 September 2006	all	233他
437	BR, Study Grp. Dpt.	Recommendation to be brought to the attention of WPs 1A and 6E	1,2	
438	SG6議長	Report on transfer of work on LSDI from Task Group 6/9 to the Working Parties of Study Group 6	2	
439	BR, Study Grp. Dpt	Recommendation to be brought to the attention of Working Parties 4A, 6E, 7C, 8A and 8E	1, 2	
440	BR, Study Grp. Dpt	Recommendation to be brought to the attention of Working Party 6E	3	242
441	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6E - Assessment of impairment caused to television reception by a wind turbine	2	240
442	WP 3M	Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4-9S, 6E, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-12	1, 2	
443	WP8A	Liaison statement to Working Parties 6J and 9D copy to 4B, 6E, 7C, 7D, 8B, 8F, 9B, and ITU-T Study Group 9 - System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service	2	
444	WP 3L	Liaison statement to WP 6E - The specification of system performance parameters for digital HF broadcasting	1	
445	WP 3J	Liaison statement to WP 6E - Digital Radio Mondiale (DRM) local coverage using the 26 MHz band; possible contribution to Recommendation ITU-R P.372 (radio noise)	1	
446	WP 1B	Liaison statement to WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D - The study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	1	
447	CCV Rapporteur of SG6	Rapporteur's Report to the Working Parties of ITU-R SG 6	5	226

448	WP8B	Liaison statement to WP 6E - Compatibility of aeronautical mobile (R) and broadcasting services above and below 108 MHz	1	234
449	WP8B	Liaison statement to Working Party 6E - Compatibility studies between the aeronautical mobile (R) service in the band 108-117.975 MHz and broadcast services below 108 MHz	1	235
450	SG6議長	Report of the seventh meeting of study group 6	Note	242
451	SG6議長	Draft new Recommendation ITU-R BS.[DOC. 6/316] - Protection requirements against interference to the sound broadcasting service in the VHF band from emissions of short-range FM modulators	1	232, (6/409)
452	Coordination Committee for Vocabulary (CCV)	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	5	226
453	WP8F	Liaison statement to WP 6E (copy to WP 8A for information) - Invitation to discuss the procedure for joint participation in the development of a methodology for sharing studies between IMT and broadcasting services in bands 470-806/862 MHz	3	239R1
454	WP8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B - (Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 9B and 9D)	1	
455	Rapporteur	Transition from analogue to digital terrestrial broadcasting	4	241
455R1	Japan	Draft Report on the Transition from analogue to digital	4	241
456	SG6議長	RAG conclusions relevant to Study Group 6, on preparation for RA-07	5	226
457	BR Secretariat	Status of texts of Study Group 6, its Working Parties and Task Groups	5	225, 226
458	DRM	Proposed draft new Question ITU-R [DRM on 26 MHz]/6 - Technical characteristics and channelling required for local broadcasting of digital modulation (DRM system) in the "26 MHz" broadcasting band	1	231
459	Italy	MPX DRM encapsulator - A system for the transition period from analogue to digital in broadcasting service band II	1	
460	Italy	DRM daytime MW tests for frequencies below 1 MHz	1	237
461	Italy	Editorial correction to Recommendations ITU-R Bt.796 and BT.1118	2	
462	Italy	Digital terrestrial television: mobile diversity case reception field test regarding present DTT broadcasting	3	222, 242
463	Russian Federation	Proposed modifications to the preliminary draft new Report on boundary coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals	2	223
464	Finland	Proposed additions to Recommendation ITU-R BT.1368-6 - New channel models for hand held reception and DVB-H receiver C/N-performance in pedestrian and mobile channels	3	238, 242
465	Australia	Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[Doc. 6/XXX] - Broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers	3	226, 229, 242
466	Australia	Revision of Preliminary draft new Report - Coverage prediction methods and planning software for digital terrestrial television broadcasting (DTTB) networks	2	
467	Australia	Proposed working document toward a modification of Recommendation ITU-R BT.805	2	
468	Australia	Preliminary draft new Report BT.[BAND V ANTENNAS] - Radiation pattern characteristics of Band V television receiving antennas	2	228R1
469	Australia	Proposed Liaison statement to WP 8F - Planning characteristics of the digital television broadcasting services in the frequency range 470-862 MHz	3	239R1
470	Australia	Proposed revision of Study Group 6 Questions ITU-R 31-1/6 - Digital terrestrial television broadcasting and ITU-R 4-2/6 - Planning parameters for digital television broadcasting using terrestrial channels	2	227
471	Korea (Republic of)	Proposal for modifications to the draft Report on "Transition from analogue to digital"	4	241
472	NABA	Preliminary draft new Report FM modulator interference to broadcast services	1	232

473	Japan	Draft liaison statement to Working Party 1B - In reply to Doc. 6E/281 titled with "Improving the international spectrum regulatory framework"	5	226
474	BR, Study Grp. Dpt	ITU-R Study Group 8 question to be brought to the attention of Working Parties 1B, 4B, 6E and 9B	1	
475	BR, Study Grp. Dpt	ITU-R Study Group 8 Question to be brought to the attention of Working Parties 6E, 7C and 9C	1	
476	CBS, Inc.	Protection requirements against interference to the sound broadcasting service in the VHF band from emissions of short-range FM modulators	1	(6/409)
477	HFCC	Revision to preliminary draft new Report - Information relating to the HF broadcasting service	1	233
478	Rapporteur for WRC-07 Agenda item 1.11	Protection requirements for terrestrial television broadcasting services in the 620-790 MHz band against potential interference from GSO and non-GSO broadcasting-satellite systems and networks	6	230
479	NDR and ZDF	Planning characteristics of the digital television broadcasting services in the frequency range 470-862 MHz & Sharing studies between IMT-2000 and terrestrial digital broadcasting in the 470-862 MHz band	3	239R1
480	BBC	Review of Report ITU-R M.2080 - Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band	1	236
481	SG6議長	Coordination of work between Working Parties 6E and 6M on digital terrestrial broadcasting	5	226
483	SG6議長	Note on new Recommendation ITU-R BS.[Doc. 6/315Rev2] and new Recommendation ITU-R BT.[Doc. 6/315Rev2] - Criterion to assess the impact of interference to the terrestrial broadcasting service (BS)	1	(6/409)

表3 出力文書一覧（全21件）

出力文書番号 (6E/TEMP/)	題 名	審議 (SWG)	入力文書番号 (6E/)	処理 ^(注) (Annex)
222	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ON DIVERSITY RECEPTION OF DIGITAL TERRESTRIAL TELEVISION BROADCASTING SIGNALS	2	462	C
223	REVISION of PREliminary draft new report on boundary coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals	2	435, 463	C
224R1	SUMMARY OF PROGRESS ON CPM TEXT FOR WRC-07 AGENDA ITEM 1.13 SINCE WP 6E MEETING 11-15 SEPTEMBER 2006	7	-	C
225	Appointment of a Rapporteur on STATUS OF TEXTS RELEVANT TO STUDY GROUP 6 and ITS WORKING PARTIES	5	457	C
226	Proposed actions on the input documents assigned to Sub-Working Group 6E-5	5	435, 447, 452, 456, 457, 465, 473, 481	C
227	Preliminary proposed revisions to questions ITU-R 31-1/6 and 4-2/6 Digital terrestrial television broadcasting Planning parameters for digital television broadcasting using terrestrial channels	2	470	C
228R1	[Preliminary] draft new report ITU-R BT.[Band V Antennas] Radiation pattern characteristics of UHF Band V television receiving antennas	2	468	C
229	Proposal for coordination between working parties in Study group 6 Broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers	3	465	SG
230	Completion of studies for WRC-07 agenda item 1.11	6	478	C
231	Draft NEW QUESTION ITU-R [DRM ON 26 MHZ]/6 Mitigation techniques required to permit the use of digital modulation in the "26 MHz" broadcasting band for local coverage	1	458	SG
232	Draft new report ITU-R BT.[FMmod] FM modulator interference to broadcast services	1	451, 472	SG
233	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT Information relating to the HF broadcasting service	1	477	SG

234	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 8B Compatibility of aeronautical mobile (R) and broadcasting services above and below 108 MHz	1	448	L
235	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 8B Compatibility studies between the aeronautical mobile (R) service in the band 108-117.975 MHz and broadcast services below 108 MHz	1	449	L
236	Liaison statement to working parties 8a, 8B and 9C Review of Report ITU-R M.2080 - Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band	1	480	L
237	DRM daytime MW Tests for frequencies below 1 MHz	1	460	C
238	DRAFT ADDITIONS TO RECOMMENDATION ITU-R BT.1368-6 Planning criteria for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	3	464	SG
239R1	Draft liaison statement to working Party 8F Planning characteristics of the digital television broadcasting services in the frequency range 470-862 MHz	3	453, 469, 479	L
240	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 3K Assessment of impairment caused to television reception by a wind turbine	2	441	L
241	Draft Report on the Transition from analogue to digital	4	435, 455, 455rev1, 471	C
242	Report to the Chair of Working Party 6E IMT/Mobile and broadcasting	3	435, 440, 450, 453, 462, 464, 465	C

(注) C: 議長レポートに添付 L: リエゾン文書送付 SG: SG6に送付 CPM: CPMレポートへ送付

以上